

福祉システム「楽園」シリーズの マイナンバー制度対応

Adopting National Identification Number System with Care Center System RAKUEN Series

● 川崎元泰 ● 平田和也 ● 今村英次 ● 坂口一郎 ● 田中良和

あらまし

マイナンバー制度が開始され、マイナンバーの取り扱いが必要となる業務運用においては、収集・保管・申告の新たなプロセスの構築が必要である。同時に、マイナンバーの取り扱いに際しては強固なセキュリティ対策が求められている。特に、中堅・中小企業においてはその対応は大きな負担となる。株式会社熊本計算センター(以下、熊本計算センター)の主要顧客である福祉施設においても、マイナンバーの取り扱いへの不安を抱えているお客様が多く存在した。このような状況の中、熊本計算センターのアプリケーションパッケージである「楽園」シリーズと株式会社富士通マーケティングの提供するマイナンバー対応ソリューションとを組み合わせるマイナンバー対応セキュリティソリューションとして提供している。本ソリューションによって、「楽園」シリーズを導入しているお客様のマイナンバー制度対応を迅速かつ確実に実現するソリューションを提供している。

本稿では、福祉施設向けマイナンバー対応セキュリティソリューションについて述べる。

Abstract

In tandem with the start of the national identification number system (My Number system) in Japan, many business systems need to be updated to add the processes of collecting and storing the numbers, and using them for reporting. Robust security measures also need to be in place for handling the numbers. small- to medium-sized enterprises may find the cost of these changes to be considerable. KUMAMOTO KEISAN CENTER LIMITED caters to the needs of care centers, and many of its clients were uncertain about what they needed to do to adopt the newly introduced system. Kumamoto Keisan Center combined its own application package, called RAKUEN, with Fujitsu Marketing's add-on My Number system and provided it. This new package allows users of the RAKUEN system to incorporate the new system quickly and reliably into their own system. This paper explains the new solution designed for social care centers that helps them adopt My Number system.

ま え が き

株式会社熊本計算センター（以下、熊本計算センター）は、1967年に富士通系のコンピュータセンターとして設立され、熊本県における情報サービス業の草分け的な存在として歩みを始めた。高度情報化推進の先進企業として、「お客様にご満足頂ける総合情報処理サービスの提供」を経営理念に掲げ、官公庁や民間企業など多くのお客様の情報処理に関わるご要望にお応えしてきた。長年にわたる情報サービス業務を通じて熊本県だけでなく、全国のお客様から信頼と評価を得ており、2017年4月には、創立50周年という大きな節目を迎える。

現在は、福祉医療関連分野、公共関連分野、産業関連分野を中心に、ソリューションビジネスサービスを主要事業としている。特に、福祉医療関連分野においては、統合業務パッケージ「楽園」シリーズを提供しており、福祉施設に特化した会計、給与計算などの基幹業務のほか、障がい者総合支援、介護保険、栄養管理など、業界特有の業務をお客様目線で情報システムの側面から多角的にサポートしている。昨今、熊本計算センターの主要顧客である福祉施設においても、マイナンバーの取り扱いが必要な業務への対応が求められている。このような状況の中、「楽園」シリーズと株式会社富士通マーケティング（以下、富士通マーケティング）が提供するマイナンバー対応ソリューションとを組み合わせ、「楽園」シリーズを導入しているお客様に対し、マイナンバー制度への対応を迅速かつ確実に実現するマイナンバー対応セキュリティソリューションを提供している。

本稿では、まず、「楽園」シリーズの概要について述べる。次に、マイナンバー制度と富士通マーケティングの取り組みを説明し、最後に福祉施設向けマイナンバー対応セキュリティソリューションを紹介する。

福祉システム「楽園」シリーズの概要

「楽園」シリーズは、福祉施設向け統合業務パッケージとして1985年の発売以来約30年にわたり、児童福祉施設、老人福祉施設、障がい者福祉施設などのお客様に提供してきた。

シリーズのラインナップは、会計システム、減価償却システム、給与管理システム、障がい者総合支援システム、介護保険システム、栄養管理システム、預かり金システムの七つから成る。これまで、利用しているお客様の声やお困りごとにフォーカスして、ラインナップを充実させてきた。

会計システムでは福祉施設の仕訳（1取引2仕訳）に対応し、給与管理システムでは給与台帳を業界標準のフォーマットに準拠するなど、業界特有の業務要件にいち早く対応してきた。また、個別のカスタマイズ要件の多い帳票（お客様固有フォーマット）においては、枠組みをマウスで自由にサイズ変更したり移動したりできる「自由レイアウト」方式を採用しており、お客様から好評を得ている。これらのシステムの共通機能として、バージョンアップや修正プログラムの適用において、クラウド上の最新プログラムとお客様のプログラムを比較し、最新でない場合はバージョンアップや修正プログラムの適用を促すメッセージを表示している。また、ワンクリックで最新プログラムを適用できる仕組みを実装しており、お客様の手間を軽減する工夫も行っている。

更に、システムの導入プロセスにおいては、全てのお客様に対してインストラクターによる導入サポートを行い、ICTに不慣れな福祉施設のお客様でもスムーズに導入できるよう支援している。導入支援時のお客様からの指摘事項や要望については、着実に次期バージョンアップ項目に組み込むことで、正にかゆいところに手が届く、お客様とともに成長するシステムとして高い信頼と評価を得てきた。その結果、現在累計で約1,000施設（約2,000システム）のお客様にご利用いただいている。特に、入所系の障がい者施設においては、熊本県内で大きなシェアを獲得し、九州地区においてもトップクラスの業務システムに成長した。

楽園シリーズの開発言語はVB.NET/MS SQL Serverであり、開發生産性の向上と品質確保を目的にソフトウェア資産の部品化を推進している。現在は、開発からサポートまで30名を超える体制で、日々のきめ細かなお客様サポートを実現している。

マイナンバー制度と富士通マーケティングの取り組み

本章では、マイナンバー制度の概要と富士通マーケティングの取り組みについて述べる。

● **マイナンバー制度の概要**

「社会保障・税制度の効率性・透明性の確保」と「国民にとって利便性の高い公正・公平な社会の実現」を目的に、国民全員に一意的個人番号を割り当てるマイナンバー制度の運用が2016年1月から始まった。これに伴い、民間企業では「源泉徴収票作成や社会保障関連の給与事務、法定調書作成等の事務（個人番号関係事務）」にマイナンバーの記載が必須となり、マイナンバー情報の収集と管理などを考慮した運用変更と、人事給与システムの制度対応が必要となった。

また、マイナンバーは厳格なガイドラインに対応した取り扱いが求められている。このため、人事給与システムの改修のみならず、セキュリティを考慮した社内規定の策定から運用プロセス、そして従業員の教育に至るまで総合的な対応が必要となる。

法人で必要となる主な対応は、以下のとおりである。

- ・従業員やその家族、個人事業主に対する本人確認。
- ・従業員やその家族、個人事業主からのマイナンバーの収集・管理。
- ・人事・給与・会計システムなどにマイナンバー（法人番号）を追加し、帳票や画面を表示、出力。
- ・マイナンバーの管理方法などについて、社内の個人情報管理規定に追記。
- ・主に総務・経理部門などのマイナンバー取り扱い者への周知・徹底。

● **富士通マーケティングの取り組み**

富士通マーケティングでは、マイナンバー制度

が施行される1年前（2014年12月）にマイナンバー専門組織を立ち上げた。2015年1月以降、既存・新規を問わず数多くのお客様に対し、マイナンバー制度関連の情報提供と、マイナンバー対応ソリューションを提案してきた（表-1）。マイナンバー制度に対するお客様の認識度やプロジェクトの進捗は、企業規模や業種によって差がある。このため、富士通マーケティングはお客様のマイナンバー制度への対応方針や対応状況ごとに最適なソリューションを品揃えし提供している。

なお、対応状況ごとのマイナンバー対応ソリューションは以下のとおりである。

● **FUJITSU Enterprise Application アドオンマイナンバーシステム**

富士通マーケティングは、中堅・中小企業を中心に数多くのお客様に、個別開発製品やパッケージ、SaaS（Software as a Service）など、様々な人事給与システムを提供してきた。これらの経験を基に、全てのお客様がマイナンバー制度に迅速に対応できる「アドオンマイナンバーシステム」の提供を2015年7月から開始した。アドオンマイナンバーシステムは、既存の人事給与システムと連携し、マイナンバーの収集・保管から、マイナンバーを付与した申告帳票の出力までを行える機能を有しており、発売からわずか半年で13万を超えるユーザーライセンスの販売実績があった（図-1）。

本システムの特長を以下に挙げる。

(1) 短期間・低価格での制度対応

お客様の既存システムに対して、帳票出力データインターフェースを追加で構築するだけでマイナンバー制度への対応が完了できる。また富士通マーケティングは、アプリケーションに加えて、お客様自身がシステムを導入可能にする導入支援ツールをパッケージングし提供できる。

表-1 マイナンバー制度対応ソリューション

対応項目	対応内容
業務の追加・見直し	マイナンバーセキュリティコンサルサービス
システムの改修	<ul style="list-style-type: none"> ・FUJITSU Enterprise Application アドオンマイナンバーシステム ・FUJITSU Enterprise Application GLOVIA smart 人事給与システム ・FUJITSU Enterprise Application GLOVIA smart きらら 人事給与システム ・AZBOX マイナンバー業務システム連携PC
管理体制の見直し	マイナンバーセキュリティコンサルサービス
従業員への周知・徹底	教育サービス

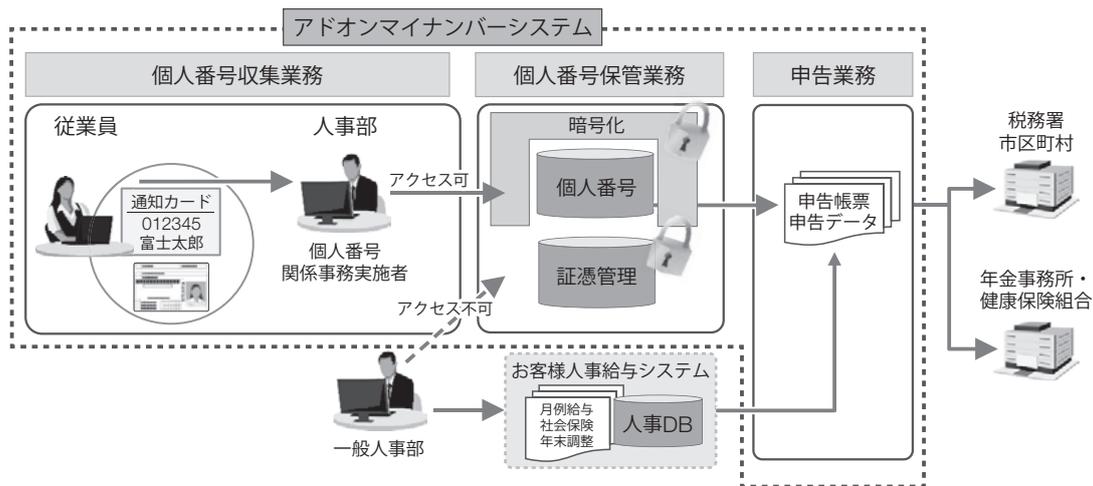


図-1 アドオンマイナンバーシステムの概要

(2) 万全のセキュリティ対策

お客様企業の従業員は、個人専用の利用者IDとパスワードを使って管理部門にマイナンバーを申請できる。また、既存の人事情報とは物理的に分離するとともに、マイナンバー情報を暗号化して管理できる。

(3) シーンに応じたチェック機能による業務効率化

チェックデジット機能によって、マイナンバーの登録ミスを防止する。また、マイナンバー未登録者の確認ツールや、パソコンが一人1台用意されていない環境を考慮して代理申請機能を装備している。

● FUJITSU インフラ構築サービス AZBOX マイナンバー業務システム連携PC

AZBOX マイナンバー業務システム連携PCは、マイナンバー業務用に最適化されたパソコンであり、以下の三つの特長を有している。

(1) 手のひら静脈認証で人事給与システムにログイン

パソコンに標準搭載された静脈認証センサーに手のひらをかざすだけで、なりすましチェックとOS、人事給与システムへのログインが完了するなど、利便性と安全性を両立している。手のひら静脈認証は「楽園」シリーズのお客様が使い慣れたシステムを継続して使用しつつ、高いセキュリティを実現できるメリットがある。

(2) セキュリティ要件への対応

マイナンバーの取り扱いガイドラインである「技術的安全管理措置」（「アクセス制御」「アクセス者の識別と認証」「外部からの不アクセスなどの防止」「情報漏えいなどの防止」）⁽¹⁾で定められているセキュリティ要件に対応したソリューションを標準で組み込んでいる（図-2）。

(3) 効率的かつ安価な導入

提供するセキュリティ対策は、富士通マーケティングで事前にセットアップして出荷するため、お客様での設定作業は不要である。したがって、既存パソコンに同等の対策を行うより効率的かつ安価に導入できる。また、3年間のハードウェア・ソフトウェアのサポートに加え、トラブル発生時の連絡を一括で受け付けるコールセンターも設置しており、お客様は安心して使用できる。

福祉施設向けマイナンバー対応セキュリティソリューション

本章では、「楽園」シリーズと前章で述べた富士通マーケティングのソリューションを組み合わせた福祉施設向けのセキュリティソリューションについて述べる（図-3）。

● 商品化企画の経緯

熊本計算センターは、マイナンバー制度施行と同時に「楽園」給与管理システムのマイナンバー対応を行った。しかし、お客様である福祉施設においては、共通のパスワードを用いて複数のシステムが運用されているなど、セキュリティ対策が

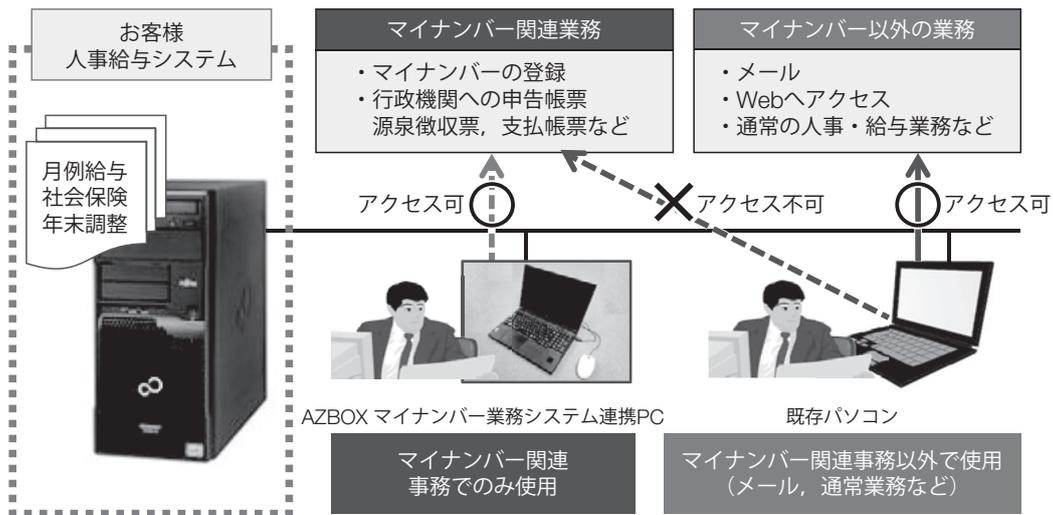


図-2 AZBOX マイナンバー業務システム連携PCの利用イメージ

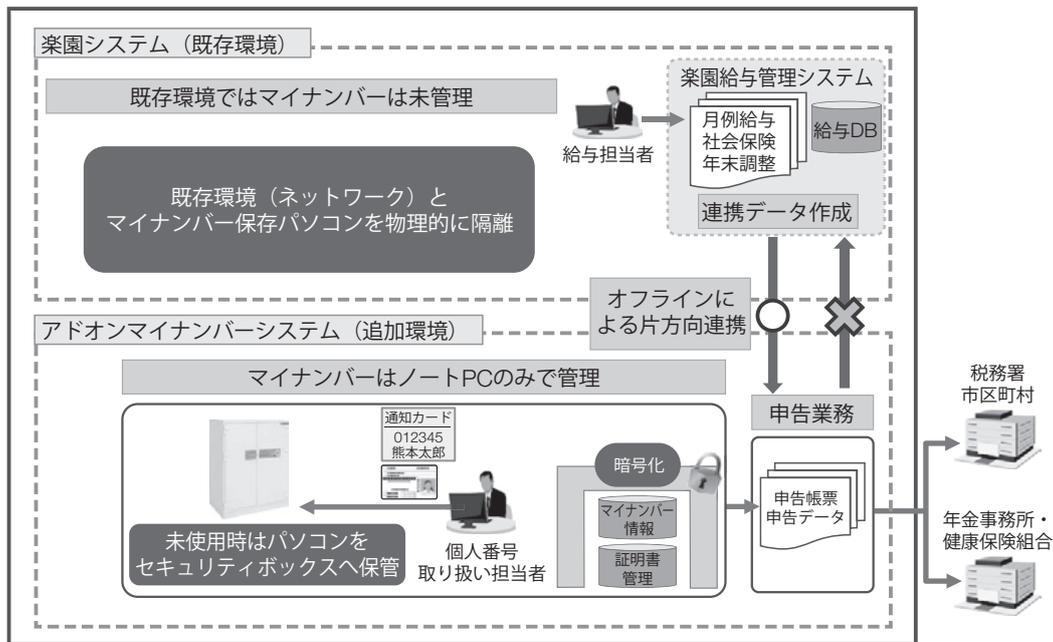


図-3 福祉施設向けマイナンバー対応セキュリティソリューション

十分とは言えない状況であり、業務用パソコンにマイナンバーを保存することに大きな不安があった。したがって、業務用パソコンにマイナンバーを保存するためには、お客様の既存パソコンにセキュリティ対策を改めて施す必要があった。

熊本計算センターは、お客様にこうした負担を強いるのではなく、マイナンバーは別のパソコンに保存することが望ましいと考えた。利用しないときはパソコン自体を金庫などに保管が可能とな

り、現行の業務用パソコンの運用に特別な変更が不要となる。

そうしたタイミングで、富士通マーケティングのアドオンマイナンバーシステムがリリースされた。これは、マイナンバーの外部保管のシステムとして熊本計算センターの対応ポリシーに合致する最も有力な候補と考えられたことから、導入の検討を開始した。

● 検証/提案プロセス

富士通マーケティングのアドオンマイナンバーシステムは、既存の人事給与システムからマイナンバーのみを切り出し保管することを目的としたシステムであるため、「楽園」給与管理システムとの接続性も良い。この特長を活かし、熊本計算センターと富士通マーケティングの開発部門が連携し、わずか2か月という短期間で接続検証を完了できた。そして、アドオンマイナンバーシステム、AZBOX マイナンバー業務システム連携PC、「楽園」シリーズ、およびインストラクターが提供するスターターサービスを組み合わせ「福祉施設向けマイナンバー対応セキュリティソリューション」として商品提供することを決定した。

提案プロセスにおいては、マイナンバーを安全に収集、保管、運用するために必要な安全管理手順を繰り返し説明し、お客様の理解を促した。特に、マイナンバー制度対応業務プロセス研修会とセキュリティ対策研修会をセットにし、前者で課題認識を促し、後者でマイナンバー対応セキュリティソリューションをシンプルに提案することが効果的であった。

その背景として、多くのお客様は他社から既にマイナンバー取り扱いにおけるセキュリティ対策として、ファイアウォール、UTM (Unified Threat Management) などのセキュリティ商品のセールスを受けていた。しかし、その内容は専門知識を必要とするものが多く、その意味を理解することが難しかった。更に、全社のセキュリティ対策を見直す必要があるため、コスト面においても受け入れにくい内容であったと考えられる。一方、熊本計算センターの提案は、マイナンバー制度対応に際して、既存環境のセキュリティ対策に関する変更の必要がないこと、ノートPC単独で入力管理し、未使用時にはセキュリティボックスに保管するというシンプルな運用方法であることから、お客様にとってイメージしやすく、かつコスト面でもお客様のニーズに合致し、好評を博した。

● 導入・運用プロセス

熊本計算センターは、前述のとおりインストラクターによる導入支援サービスを提供しており、今回の福祉施設向けマイナンバー対応セキュリティソリューションにおいても、インストラクター

が提供する独自のスターターサービスを提供している。このサービス提供に際しては、インストラクターがお客様の視点に立ち、自らサポート内容を定義し提供している。また実施に際しては、現場での作業を可能な限り少なくするために、顧客情報登録など事前にできることはあらかじめ熊本計算センターで行うことで、現場では操作説明が中心になり、お客様からも好評を得ている。

本ソリューションを導入されたお客様からは、特に手のひら静脈認証によりセキュリティレベルが向上し、かつIDやパスワードの入力間違いによる不便さが解消したなどの感謝の言葉も寄せられている。

む す び

本稿では、熊本計算センターの「楽園」シリーズと、富士通マーケティングのマイナンバー対応ソリューションとを組み合わせ福祉施設向けマイナンバー対応ソリューションについて述べた。

今後、福祉システム「楽園」シリーズはクラウドへの展開を視野に、お客様に末永くご愛用いただけるシステムとして商品開発を続けていく。また、熊本計算センターは「お客様にご満足頂ける総合情報処理サービスの提供」を経営理念とし、その実現に向け今後ともお客様目線での商品開発をポリシーに、更なる価値提供を目指していく。

参考文献

(1) マイナンバー対策準備室：マイナンバー制度と安全管理措置。

<https://mynumber.acube-ac.com/seido/seido07.html>

著者紹介



川崎元泰 (かわさき もとやす)

(株) 熊本計算センター
営業本部
福祉システム営業部
「楽園」シリーズの営業責任者として企画、拡販管理に従事。



平田和也 (ひらた かずなり)

(株) 熊本計算センター
営業本部
福祉システム営業部
「楽園」シリーズの営業担当として販売
に従事。



今村英次 (いまむら えいじ)

(株) 熊本計算センター
システム本部
福祉システム部
「楽園」シリーズの開発グループ責任者
として企画、管理に従事。



坂口一郎 (さかぐち いちろう)

(株) 熊本計算センター
システム本部
福祉システム部
「楽園」シリーズの基幹業務責任者とし
て企画、開発に従事。



田中良和 (たなか よしかず)

(株) 富士通マーケティング
商品戦略推進本部
プロダクトビジネス推進統括部
マイナンバー制度対応製品の企画・開
発に従事。